高齢者へのインタビューに関するベストプラクティスガイド

日系カナダ人向けリソース

なぜ高齢者の物語が重要なのか

日系コミュニティにとって、高齢者は移民の歴史、不屈の精神、不正義、そして文化の存続といった歴史を伝える生きた架け橋です。多くの高齢者は次のような記憶を携えています。

- 戦前の生活漁村や農業コミュニティ、あるいはバンクーバーのパウエルストリートなど。
- 強制収容と強制移住—彼らは家を追われ、収容所に送られたり、砂糖大根農場に移住させられたりする。
- 再建—財産を失った後、多くの場合何も持たずに再出発する。
- 文化の保存—お盆やお正月を祝ったり、日系カナダ人同士でピクニックを楽しんだりしながら、カナダでの生活に適応していく。
- 地域社会の回復力柔道クラブ、野球リーグ、仏教寺院、キリスト教会などが、帰属意識の中心地となった。

こうした物語を記録することは、歴史を保存する以上の意味を持つ。それは、アイデンティティ、尊厳、そして帰属意識を未来の世代へと受け継いでいくことなのだ。

丁寧に準備する

- 背景調査を行う:
  訪問前に、日系カナダ人の歴史の基本的な年表を学びましょう。*Nikkei*、*一誠*（第一世代）*日系二世*（第二世代）*Sansei*（第三世代）は意識と敬意を示している。

- 意図を明確にする:
  なぜ彼らの話を記録したいのか、率直に伝えましょう。

  例えば:
  「私たちは家族の歴史を後世に伝え、私の子供や孫たちが私たちのルーツを常に知ることができるようにしたいのです。」
  「日系ミュージアムは、家族が自分たちの物語を記録するのを支援し、それらが失われないようにしています。」

- 環境を計画する:
  温かいお茶を飲みながらキッチンテーブルに座ったり、庭を散歩したりする方が、演出されたインタビューよりも自然に感じられるかもしれません。

敬意を示す

- 感謝の気持ちから始めましょう:軽く頭を下げる、感謝状を渡す、または果物を持ってくる（*みかん*オレンジは伝統的な贈り物であり、敬意を表す雰囲気を醸し出します。

- 敬称:特に指定がない限り「～さん」を使用してください。年長者には「～さん」と呼んでいただくと喜ばれる場合があります。*彼らは水をやった*（祖母）または*Ojiisan*（祖父）適切な場合はそう呼ぶ。

- 辛抱強く耳を傾けてください: J日本系カナダ人は、しばしば遠回しな言い方をしたり、間を置いて話したりします。「早く要点を言ってくれ」と急かさないようにしましょう。

- 文化的な謙虚さ:年配の方の中には、自分の功績について謙遜する方もいるかもしれません。「大したことじゃないですよ」と言うかもしれません。無理強いせず、優しく励ましてあげましょう。

思慮深い質問をする

質問は、一言で答えられるものではなく、物語を語るような内容であるべきです。以下は日系人の生活や歴史に関連した質問例:

幼少期と家族生活

- 子供の頃はどんなゲームをしましたか？*けん玉* または *ビー玉*？
- 子供の頃を一番思い出させる食べ物は何ですか？誰が作ってくれましたか？
- あなたの家族はお正月を祝いましたか？どんな伝統行事を覚えていますか？
- あなたの家族の中で、一番話上手だったのは誰ですか？どんな話をしてくれましたか？

戦前のコミュニティ

- パウエル・ストリートやスティーブストン、その他日系カナダ人が集まっていた場所について、何か覚えていることはありますか？
- あなたの両親や祖父母は、なぜカナダに来たのかについて話したことがありますか？
- 漁業・農業・林業を営むコミュニティでの日常生活はどのようなものだったのでしょうか？

収容と移送（慎重に対応）

- 戦争中にご家族に何が起こったのか、お話いただけますか？
- 家を出なければならなかった日のことを覚えていますか？
- 収容所や農場での生活はどのようなものでしたか？
- その期間中に、親切な行為や地域社会との繋がりを感じさせる瞬間はありましたか？

復興と回復力

- 戦後、ご家族はどのように再出発されたのですか？
- わずかなもので新しい生活を築くのはどんな感じでしたか？
- スポーツ、柔道、野球は、人々を結びつける上でどのような役割を果たしたのでしょうか？
- あなたにインスピレーションを与えてくれた地域リーダーはいましたか？

アイデンティティと遺産

- 自分の人生を振り返って、最も誇りに思うことは何ですか？
- 若い世代に受け継いでほしい教訓は何ですか？
- あなたが今後も守り続けてほしいと願う日本の価値観や伝統は何ですか？
- 孫やひ孫にどんなアドバイスをしますか？

難しい物語の扱い方

高齢者の中には、強制収容、人種差別、喪失などによるトラウマを抱えている人もいるかもしれません。これらの話には、優しさ:

- 「何が起こったのか教えてください」と言う代わりに、「当時のあなたの生活はどのようなものでしたか？」と尋ねてみましょう。
- 「ノー」という返事を尊重しましょう。もし相手が話したくないのであれば、先に進みましょう。
- 感情が湧き上がってきたら、一旦立ち止まりましょう。時には、静かに座っていることが最も敬意を表す対応となることもあります。

責任ある録音

- **同意**:必ず明確な許可を得てください。美術館でのプロジェクトの場合は、書面による同意書を使用してください。家族での使用であれば、口頭での同意で十分な場合もあります。
- **装置**:電話は問題なく使えます。近くに置きますが、邪魔にならないようにしてください。
- **ファイルケア**:ファイル名は分かりやすくしてください。姓_名_年/日付_トピック

  例:「Yada_William_2025_ChildhoodMemories.mp3」
- **バックアップ**:2か所に保存します(家族のパソコンとクラウド)。
- **編集を尊重してください**:もし後になって年長者から「その部分は共有しないでください」と言われたら、その部分は削除してください。

文化への配慮の実践

- **伝統**:祈りで始めたり、祈りで締めくくったりしたい人もいるかもしれません。または歌。相手が抵抗がなければ、招待して録音してみましょう。
- **言語**:高齢者は日本語と英語を交互に使うことがあります。その切り替えには意味があるので、口を挟まないでください。
- **地域社会を第一に**:これらの物語は、個人だけのものではなく、日系人コミュニティ全体のものであることを忘れないでください。これらは贈り物であり、商品ではありません。

インタビュー後

- **きちんと感謝の気持ちを伝えましょう**:後で写真やカード、小さな贈り物を送ると良いでしょう。これは文化的に高く評価される行為です。
- **コピーを共有する**:彼らとその家族に録音へのアクセスを許可してください。アーカイブ用であれば彼らの物語がどのように語り継がれていくのかを説明する。
- **戻る**:また訪れてみてください。信頼関係が深まると、多くの高齢者はさらに多くのことを語ってくれるでしょう。

物語の断片例

「私が10歳の時、バンクーバーの家を出なければならないと言われました。父はちょうど庭の手入れを終えたばかりで、母は前日に饅頭を焼いていました。私たちはスロカンに送られました。寒い冬のことは覚えています。でも、食べ物を分けてくれた近所の人たちの優しさも覚えています。すべてを失いましたが、それでも私たちは集まってお盆踊りをしました。そうやって、私たちは人々の繋がりによって生き延びたのです。」

こうした記憶は、喪失と回復力を融合させたものであり、日経の物語の中核をなす要素である。

あなたの役割

聞き手および記録者として、あなたは次の役割を担います。

- A記憶の守護者。
- A世代間の架け橋。
- Aレジリエンスを学ぶ学生。
- A物語を語る際の相棒単なる面接官ではない。

最後に

年長者と話をするとき、あなたは単に事実を集めているのではなく、神聖な保存行為に参加しているのです。あなたが記録する物語の一つ一つが日系人コミュニティを強化し、先人たちに敬意を表し、未来の世代に警告とインスピレーションの両方を与える。

あなたの役割はシンプルですが、非常に奥深いものです。心を込めて耳を傾け、丁寧に記録し、感謝の気持ちを込めて還元してください。